

令和7年度 下半期 中津川市財政状況

令和8年3月31日現在

1 予算の状況（一般会計・特別会計）

(単位:千円)

会計名	上半期 予算額	12月 定例会	12月 追加提出分	1月19日 専決	1月 臨時会	3月 定例会	合計
一般会計	51,242,507	284,131	214,731	67,252	843,698	1,176,395	53,828,714
国民健康保険事業会計	8,298,176	2,404				729	8,301,309
事業勘定	7,969,207	△2,367				729	7,967,569
直営診療施設勘定	328,969	4,771					333,740
駅前駐車場事業会計	19,740						19,740
介護保険事業会計	9,496,959	4,092					9,501,051
後期高齢者医療事業会計	1,440,575	147,360					1,587,935
計	70,497,957	437,987	214,731	67,252	843,698	1,177,124	73,238,749

※上半期予算額に令和6年度からの繰越額を含む

2 予算の執行状況（一般会計・特別会計）

(単位:千円)

会計名	歳入			歳出		
	予算現額	収入済額	収入割合(%)	予算現額	支出済額	支出割合(%)
一般会計	53,828,714	46,972,545	87.3	53,828,714	40,298,630	74.9
国民健康保険事業会計	8,301,309	6,458,420	77.8	8,301,309	5,998,042	72.3
事業勘定	7,967,569	6,194,873	77.8	7,967,569	5,743,872	72.1
直営診療施設勘定	333,740	263,547	79.0	333,740	254,170	76.2
駅前駐車場事業会計	19,740	158,536	803.1	19,740	18,268	92.5
介護保険事業会計	9,501,051	9,213,776	97.0	9,501,051	8,152,880	85.8
後期高齢者医療事業会計	1,587,935	1,435,825	90.4	1,587,935	1,278,204	80.5
計	73,238,749	64,239,102	87.7	73,238,749	55,746,024	76.1

※予算現額に令和6年度からの繰越額を含む

3 地方債現在高

(単位:千円)

会計名	令和6年度 末残高	令和7年度 借入額	令和7年度 償還額	令和8年3月 末現在高	市民1人あたり (円)
一般会計	33,445,086	670,000	3,693,548	30,421,538	422,586
特別会計					
国民健康保険事業会計 (直営診療施設勘定)	100,275		14,399	85,876	1,193
企業会計					
水道事業会計	3,609,318	573,400	222,045	3,960,673	55,018
下水道事業会計	13,291,406	899,500	1,670,924	12,519,982	173,915
病院事業会計	3,951,005	13,900	705,675	3,259,230	45,274
計	54,397,090	2,156,800	6,306,591	50,247,299	697,986

※市民一人あたりの数値は令和8年3月31日現在の住民基本台帳人口(71,989人)から算出

4 一時借入金現在高

なし

5 財産(基金)の状況

令和8年3月31日現在(単位:千円)

基金種別	基金現在高	内訳		市民1人あたり (円)
		現金預金等	その他	
積立基金計	22,874,236	22,874,236		317,746
一 一般会計計	20,889,498	20,889,498		
財政調整基金	6,082,507	6,082,507		
減債基金	1,839,184	1,839,184		
教育基金	91,337	91,337		
地域振興基金	4,046,450	4,046,450		
ふるさとづくり応援基金	331,998	331,998		
美術館建設及び美術品等取得基金 (美術館建設分)	72,567	72,567		
しあわせづくり基金	581,551	581,551		
元気びとづくり基金	3,043	3,043		
ふるさと農村活性化対策基金	29,072	29,072		
公共施設整備運営基金	2,355,027	2,355,027		
職員退職手当基金	2,222,480	2,222,480		
美しいまちづくり景観整備基金	20,668	20,668		
明治座維持補修基金	4,759	4,759		
図書館振興基金	19,756	19,756		
リニア中央新幹線まちづくり基金	3,153,000	3,153,000		
小水力発電施設建設基金	35,220	35,220		
土地改良施設建設改良基金	879	879		
特別会計計	1,984,738	1,984,738		
国民健康保険基金	970,433	970,433		
介護給付費準備基金	1,014,305	1,014,305		
定額運用基金	97,430	42,979	54,451	1,354
家畜貸付基金	48,641	33,704	14,937	
美術館建設及び美術品等取得基金 (美術品取得分)	41,573	3,353	38,220	
物品調達基金	7,216	5,922	1,294	
合計	22,971,666	22,917,215	54,451	319,100

※市民一人あたりの数値は令和8年3月31日現在の住民基本台帳人口(71,989人)から算出

6 一般会計予算の執行状況

歳入

(単位:千円)

科 目	当初予算額	繰越明許	事故繰越	補正予算額	予算現額	収入済額	収入割合
1 市 税	10,618,627				10,618,627	11,619,459	109.4%
2 地 方 譲 与 税	584,000				584,000	583,450	99.9%
3 利 子 割 交 付 金	5,000				5,000	19,281	385.6%
4 配 当 割 交 付 金	70,000				70,000	101,167	144.5%
5 株式等譲渡所得割交付金	154,000				154,000	148,366	96.3%
6 法 人 事 業 税 交 付 金	182,000				182,000	194,471	106.9%
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,920,000				1,920,000	2,183,746	113.7%
8 ゴルフ場利用税交付金	35,000				35,000	36,049	103.0%
9 環 境 性 能 割 交 付 金	80,000				80,000	69,758	87.2%
10 地 方 特 例 交 付 金	61,000				61,000	75,317	123.5%
11 地 方 交 付 税	11,407,000				11,407,000	12,694,137	111.3%
12 交通安全対策特別交付金	4,397				4,397	2,118	48.2%
13 分 担 金 及 び 負 担 金	254,394			2,820	257,214	169,572	65.9%
14 使 用 料 及 び 手 数 料	587,868				587,868	526,119	89.5%
15 国 庫 支 出 金	5,720,713	1,158,273		1,418,149	8,297,135	5,310,144	64.0%
16 県 支 出 金	3,266,638	411,543		188,933	3,867,114	2,725,560	70.5%
17 財 産 収 入	325,815			17,401	343,216	275,319	80.2%
18 寄 附 金	1,323,162			45,690	1,368,852	1,075,231	78.5%
19 繰 入 金	3,984,133			△90,327	3,893,806	3,430,313	88.1%
20 繰 越 金	300,000	1,445,542		1,940,621	3,686,163	3,844,484	104.3%
21 諸 収 入	1,286,853	138,001		90,268	1,515,122	1,218,484	80.4%
22 市 債	3,129,400	1,365,000		396,800	4,891,200	670,000	13.7%
合 計	45,300,000	4,518,359		4,010,355	53,828,714	46,972,545	87.3%

歳出

(単位:千円)

科 目	当初予算額	繰越明許	事故繰越	補正予算額 充用額	予算現額	支出済額	支出割合
1 議 会 費	281,818			4,231	286,049	266,283	93.1%
2 総 務 費	4,561,343	284,484		1,122,479	5,968,306	4,286,509	71.8%
3 民 生 費	13,376,499	331,143		1,016,987	14,724,629	12,755,322	86.6%
4 衛 生 費	5,184,730	183,549		166,535	5,534,814	4,576,258	82.7%
5 労 働 費	65,365			692	66,057	59,972	90.8%
6 農 林 費	1,875,107	190,848		45,979	2,111,934	1,560,719	73.9%
7 商 工 費	1,243,597	59,969		833,219	2,136,785	981,736	45.9%
8 土 木 費	6,208,695	2,087,275		△49,943	8,246,027	4,150,960	50.3%
9 消 防 費	1,903,093	260,522		104,390	2,268,005	1,496,797	66.0%
10 教 育 費	6,300,214	1,061,509		585,843	7,947,566	6,097,560	76.7%
11 災 害 復 旧 費	373,717	59,060		182,412	615,189	256,370	41.7%
12 公 債 費	3,905,821				3,905,821	3,810,144	97.6%
13 諸 支 出 金	1				1	0	0.0%
14 予 備 費	20,000			△2,469	17,531	-	-
合 計	45,300,000	4,518,359		4,010,355	53,828,714	40,298,630	74.9%

7 財政の動向及び市長の財政方針

(令和8年度予算編成にあたって)

令和8年度は、中津川市総合計画の最終年度となり、総仕上げをおこなうとともに、令和9年度から始まる次期総合計画への橋渡しを行い、新たなステージへ踏み出すための重要な年となります。

市長公約に掲げた「笑顔があふれ 未来がワクワクするなかつがわ」の実現に向けて、「ひとづくり」「地域づくり」「安心づくり」の三つの柱に沿って、こどもたちの笑顔、地域の元気、市民の安全安心を守る施策を展開していきます。

社会情勢は目まぐるしく変化しており、人口減少や少子高齢化、担い手不足、頻発する自然災害、インフラの老朽化、物価高騰への対応など、行財政運営の課題が山積しています。

財源に限られる中、あれもこれもではなく、実現したいまちの未来はどんな姿か、市民は何を望んでいるかをしっかり把握し、費用対効果を見極め取捨選択するとともに、事業スクラップやマスタープランの推進に不退転の決意を持って取り組み、財源や人的資源の確保に努めます。

また、スピード感と柔軟性を持ち、新たな発想でまちづくりに着手するとともに、DXの推進により市民の利便性を高め、組織や仕事の進め方を見直し、行政サービスの質の向上を図ります。

(当初予算規模)

以上の基本的な考え方に基づいて編成した令和8年度予算総額は、一般会計、特別会計及び企業会計で866億2千411万3千円となります。

このうち、一般会計は441億4千万円で2.6%の減、特別会計は189億5千222万4千円で0.2%の増、企業会計は235億3千188万9千円で4.9%の増となります。

◆歳入

- ◇ 市税は、3.4%増の109億7千629万2千円を計上しました。個人市民税は、個人所得の増加を見込み4.5%の増、法人市民税は課税対象となる企業収益の改善を見込み、13.5%の増を計上しました。固定資産税と都市計画税は、家屋の新增築の実績をもとに、固定資産税で2.1%、都市計画税で2.0%の増を計上しました。
- ◇ 地方交付税は、国において、地方公共団体が行政サービスを安定的に提供できるよう、令和7年度を上回る交付額を確保するとしており、普通交付税は0.5%増の106億6千200万円、特別交付税は前年度と同額の8億円を計上しました。
- ◇ 寄附金のうち、ふるさとづくり寄附金は、返礼品の開発や事業者の開拓などにより、10億5千万円を計上しました。
- ◇ 財源調整としての財政調整基金繰入金は、人件費の上昇や物価高騰などにより経常経費が財政運営を圧迫していることなどから、財政調整基金を取り崩さざるを得ず、令和7年度と比較して12.0%減少したものの、25億円を計上しました。
- ◇ 基金繰入金のうち、リニア中央新幹線まちづくり基金は、リニアを活かしたまちづくり事業に計画的に活用しており、令和8年度は、17.6%減の3億9千563万1千円を計上しました。
- ◇ 市債は、小中学校の特別教室へのエアコン設置工事や道路新設改良事業などに引き続き活用するものの、坂本学校給食共同調理場整備や消防通信指令業務共同運用整備などが完了したことにより、32.3%減の21億1千770万円を計上しました。

◆歳出

- ◇ 職員人件費のうち、一般職の給料は、人事院勧告によるベースアップや昇給などにより、1.3%の増となりました。退職手当については、定年年齢の段階的引上げにより、2年毎に定年退職者が生じるため、令和8年度は、378.2%の増となりました。一般職の人件費全体では、5.5%増の84億4千42万7千円となります。
- ◇ 物件費は、人件費の上昇や物価高騰に伴い、委託料などが増大しており、6.0%増の77億9千386万3千円を計上しました。
- ◇ 公債費は、金利が上昇していることに伴い、新規借入に対する利子償還金が増額することを見込み、2.1%増の39億8千725万7千円を計上しました。
- ◇ 施設整備などの普通建設事業費は、坂本学校給食共同調理場整備が完了したことや、2か年度に跨っておこなう小中学校の特別教室へのエアコン設置工事の予算額が令和7年度よりも少額であることなどにより、22.2%減の60億461万6千円を計上しました。

(令和8年度の主要事業)

◆「ひとづくり」

東濃地域では初、県内では2市目となる、3歳児から中学生までの給食費を無償化します。令和8年度から、小学生については、国の施策で無償化されますが、中学生につきましては、市独自で無償化します。

また、子どもたちの権利を守り、健やかな育ちを社会全体で支えるまちづくりを行うため、小学生、中学生自身が考える「子ども条例」の制定に向けた取り組みを始めていきます。

さらに、路線バスや明知鉄道を利用して遠距離通学している高校生の保護者に対し、令和8年度からは助成額を大幅に拡充し、切れ目のない子育て支援を強化していきます。

◆「地域づくり」

令和8年度に苗木城が築城500年を迎えるため、各種記念イベントを開催するとともに、往時の苗木城の姿を最新のデジタル技術で復元するなど、さらなる魅力の向上に取り組めます。

また、駅前空間に新たなバス待合所や観光案内所を整備するとともに、駅前の噴水広場をイベントスペースに生まれ変わらせるなど、中心市街地のにぎわいを創出していきます。

◆「安心づくり」

中津川市民病院の産婦人科を充実させるため、大学からの医師を増員するとともに、外来や病棟を明るく清潔感のある施設に改修するなど、安心して出産できる環境を整えます。

また、地域総合医療センターの常勤医師を確保し、4つの直営診療所への弾力的な医師派遣により、持続的な地域医療体制を目指します。